

<p>【学校教育目標】 豊かな心と確かな学力、自主・自律の精神を身につけた児童の育成</p>	<p>【本年度の重点目標】 ・自分の考えを持ち、まとめ表現する力の育成 ・自分の健康をよりよく改善できる児童の育成 ・きまりを守り、進んで挨拶ができる児童の育成 ・地域の人材・施設・行事等の活用によるふるさとを大切にできる児童の育成</p>
---	---

【4－大変よい 3－よい 2－努力を要す 1－すぐに改善】

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策		
学校運営		<ul style="list-style-type: none"> ・同学年会での、学力向上プランの振り返り（評価・改善シート） ・PDCA サイクルによるマネジメントの充実・運営委員会を経て、職員会議で周知徹底 	3.2	<p>【3.0】 * 校内はもちろん小中での連携組織で推進していく内容もあると思います。</p> <p>* 大量退職、大量採用の時代にあり、人材育成の工夫が一層必要であると思います。</p>	<p>◇ 主務者に指示し、短いスパンでのPDCAサイクルを確立させ、協働実践を行いやすいようにする。</p>	
		<p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学期毎の指導の重点の評価及び改善策構築 ○ 校務分掌部会の開催と策の立案、協働実践 ● 短いスパンでのPDCAサイクルの確立 ● 余裕を持った、提案等と周知 				
総合所見		協働実践を行っていくためにも、同じ目標のもと役割分担を行い、その成果や課題を共有していく必要がある。				
教育課題 (重点目標)	学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査後、全職員で結果分析や調査問題を解く研修の実施 ・複数体制での指導と書く活動の複数回設置 ・専科や指導方法工夫改善教員による補充・週1回のパワーアップタイム（計算領域） ・朝の活動の時間の充実（MIM、かけ算等） 	3.0	<p>【3.0】 * 授業において具体物の操作活動、視覚的支援、ペア交流などの工夫がなされ、わかる授業づくりや主体的な学びの授業の取組が見られた。</p> <p>* 学力向上委員会同士の連携で基礎的な内容の定着のためのルーティンを確認するには、家庭学習の重点期間を同一期間にする。生徒会から小学校への読み聞かせやビブリオバトルを行う。</p> <p>* 上級生は、少人数あるいは習熟度別クラスの学習が必要だと感じました。</p>	<p>◇ 小中の学力向上委員会が連携をとり、「学びのスタンダード」づくりを含め、基礎的な内容の定着のため連携を図る。</p> <p>◇ 全国学力・学習状況調査、NRT検査結果等の分析を行い、重点学年及び単元の絞り込みをし、習熟度分割授業などの確実な実施を行い、学力の向上を目指す。</p> <p>◇ 対象児童を絞り込み、家庭学習の個別化を図り定着度をアップする。</p>	
		<p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 習熟度分割授業の実施による重点単元の達成率の伸び ○ 学ぶ意欲の持続・向上 ● 書く活動から話し合う活動へのつなぎ方 ● 各単元テスト・学期末テストの結果を基にした補充や習熟を図る取組の継続 				
		生活習慣・体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した「マイプランカード」取組 ・NPO や生涯学習課と連携したメディア教育 ・全学年コーディネーショントレーニングの実施（低学年学期2回・中高学年学期1回） 	2.9	<p>【3.0】 * 家庭環境の厳しい子、ネット依存傾向の子への支援は今後も課題がある。</p> <p>* SNS活用の積極的な指導、保護者に対する事例による啓発を計画的に実施する。</p>	<p>◇ SNS利用の子ども達の増加に伴い、今後もメディア教育を推進し、自己抑制力やモラルの向上を図る。</p> <p>◇ コーディネーションを教育課程に位置付け、体育主任に指示し、組織的・計画的に推進していく。</p>
			<p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 長期休業に関する生活習慣の意識向上 ○ 体育委員会による外遊びの奨励の放送実施 ● 家庭と連携した取組の徹底 ● 体力テストの結果や体力アップシートの活用 			
	思いやりの心・規範意識	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめアンケートの実施による児童の実態交流、未然防止と初期対応の徹底 ・生徒指導委員会と「職員交流」の連動実施 ・各学級に道徳コーナーの設置 ・学んだ足跡を振り返る道徳ファイルの準備と教室に常備 ・児童の委員会活動による取組と振り返り、「あいさつ運動」「廊下の歩行」等 	3.1	<p>【3.4】 * 学習規律が身に付いている児童が多く見られた。廊下に児童の作品が掲示され、一人一人が大切にされる環境作りが行われた。</p> <p>* 目指す児童像に向けて意図的・計画的な取組（すばらしい望ましい行為の積極的な評価）を小中で情報交換をし、話題の提供をする。</p> <p>* 道徳の授業では、もっと生徒間の活発な意見交換があっても良いと感じました。</p>	<p>◇ 目指す子ども像へ向けて、意図的・計画的な称賛の場を設け、意識の向上を図る。</p> <p>◇ 掲示物などを利用し、モデルの提示をしたり、子ども達の様子を発信したりし、学習環境作りの充実を図る。</p> <p>◇ 道徳科の授業において、さらに教材の工夫等を行い、児童の考えを表出しやすいようにする。</p>	
		<p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 人権学習を授業公開・懇談会を実施し、児童と保護者ともに人権意識の高揚推進 ○ 道徳コーナーの活用状況の把握と声かけ ○ 取組の実施と校内放送での意識付け ● 道徳科と関連させた推進 ● 保護者や地域の情報収集と指導の充実 ● 学ばせたい道徳的価値の絞り込みと、学んだ道徳的価値の日常における振り返り 				
	安全・開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・消防整備会社や警察署等と連携した避難訓練（火災・地震） ・PTA 活動等と連携した安全点検・学校通信、HPと学年・学級通信の定期発行 ・保護者アンケートの結果公表（お便り）・「福岡アクション3」による不登校未然防止 ・日常の家庭訪問・家庭連絡による対応の構築 	3.5	<p>【3.4】 * PTA 組織や他の各種団体関係機関とより一層協力体制をもって学校行事に参画してもらう。</p> <p>* 見る人の関心をひくグランドデザインが作成されていた。学校だよりを毎号頂き、掲示をさせていただいている。</p>	<p>◇ 各種団体機関やPTA組織と連携し、さらなる児童の安心・安全を守る。（見守りや110番の家の設置増加等）</p> <p>◇ 小中連携で情報を共有し、不登校等の指導の充実を図る。</p>	
		<p>（結果）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ マニュアルによる共通理解、注意喚起 ○ 学力テスト等の結果公表（HP・お便り） ○ アンケート「仲良く過ごしている」16%アップ ● さらなる関係機関との連携 ● 引き続きわかりやすい結果公表（数値化） ● さらなるSC・行政・福祉機関との連携 				
総合所見		今後も学力向上を図るためにも、学習の基盤づくりや児童一人一人が大切にされる集団づくりを行っていく必要がある。				